

第
3
章

前期基本計画の取り組み

■ 基本目標と主要施策について

前期基本計画は、基本構想で示す3つの理念を実現するために、6つの基本目標（基本施策）と18の主要施策を設定しています。

町が取り組むべき内容を主要施策毎に位置付けています。

また、その分野を取り巻く社会的取り組みの中でも、特に力を入れて講じる取り組みは、「主要事業」として設定しています。

また、各施策の進捗状況・達成度をモニタリングし、計測するために「めざす目標」を設定しています。

今後の行政運営では、地域との協働が不可欠であるため、地域と連携して取り組むための視点を記載することで、町民・事業者が行政と一体となってまちづくりを進めていくことができるようにします。

■ 前期基本計画の記載項目

社会的な潮流と課題	施策の基本方向
社会的な潮流と課題を表しています。 全国的な状況や今後の動向、考慮すべき新たな局面を示しています。	基本方針に基づき前期基本計画で講じる内容の方向性を表しています。
解決に向けた町の取り組み	主要事業
社会的な潮流と課題に対して、近年、町が取り組んできた内容と、今後、町が取り組む必要性や方向性を示します。	施策の基本方向を受け、特に力を入れて取り組む事業を主要事業として表しています。
基本方針	協働の視点
各分野で取り組む内容の基本的な方針を表しています。	町民や地域の団体、民間事業者等と連携して施策を進めるための視点を表しています。
	めざす目標
	取り組みを講じた結果、町がどのような姿になっているかを表しています。

■ 計画の進行管理

前期基本計画の計画期間は5年間とし、事業進捗管理と施策評価を適切に組み合わせ、適宜改善していく体制・仕組み（PDCAサイクル^{※1}）を構築します。

事業進捗管理（事務事業評価）は毎年度実施し、施策評価はめざす目標で定めた数値指標を活用して適切な段階で進捗管理を行います。



第六次函南町総合計画審議会の様子

※1 PDCA サイクル：Plan-Do-Check-Action サイクル。Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の4つの視点を実施過程に取り込むことで、継続的な改善を推進する手法のこと。